

ICT活用コーディネーターによる

生徒の ICT 活用の意欲を高める授業

第3学年

MetaMoji を使ってみよう

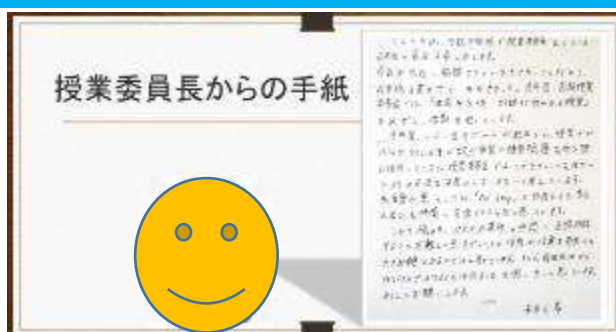
こんな子どもたちの姿が生まれました！

- MetaMoji を使い、自分の考えを書き込み、様々な機能に触れることができました。
- 今後の授業の中で活用し、仲間と交流をしていきたいと意欲を高めることができました。

ICT コーディネーターによる MetaMoji の使い方の説明

授業委員長からの「授業の交流の場でタブレットを有効活用したい。」という願いを受け、ICT コーディネーターが、フィールド校の生徒を対象に MetaMoji の研修を行い、「授業で使ってみよう」という意識を高める。

- ・これまでの学び方と今後の学び方について(情報活用能力)
- ・実際に使ってみることで MetaMoji の機能(できること、できないこと、授業で生かせそうなこと)に触れる。
- ・MetaMoji を活用し、仲間との交流を体験する。



授業委員長がICT コーディネーターに向けて書いた手紙(「タブレットの有効活用」について)

教師の指導のポイント

- 実際に使ってみることで、お互いに試し、聞き合うことでMetaMojiに慣れることを重視。
- 生徒の思いを受け、協働学習で活用できそうな事例を紹介し、意欲を高める。

「MetaMoji 研修」を終えての感想



実際に MetaMoji クラスルームの機能に触れることで、自分の考えを書き込んだり、仲間と意見を交流したりすることを体験するなど、前向きに取り組む姿が印象的でした。

授業を受けての感想

- ・MetaMoji は教師と生徒、学級みんなで交流することができるので、より授業が活発になると思いました。
- ・この授業を受けて、コロナ禍の中、仲間との交流が制限されてもタブレットを活用することで、授業を活発にできることが分かりました。

今後に生かしていくこと

- ・臨時休業になった場合、学校と家庭をつないでオンライン授業ができるとより便利に使うことができる。
- ・授業だけではなく、朝の会や帰りの会、特別活動の中で利用していきたい。
- ・使っている中で出てきた問題点(機能面、モラル面)をもとに学級で話し合っルールを設定していきたい。

教師の指導のポイント

- 単元、単位時間のどの場面で ICT 機器を活用するのかを吟味し、積極的に授業で活用していく。
- 「ICT 機器を活用し、主体的・対話的で深い学び」の具現をめざす。